

令和3年度 放課後等デイサービス自己評価の集計結果（公表）

		事業所名			児童デイサービス たけのこ		
	チェック項目	回答数	① はい	② どちら ともい えない	③ いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	4	2		①大きな訓練室と3つの個室を使用し支援をしています。	今年度より個室が使えるようになり更衣や個別対応等支援しやすくなりました。
	② 職員の配置数は適切であるか	6	5	1		①支援員5名にて支援しています。内3名が保育士です。	支援員5名に自発管1名を加えた職員体制にて対応させて頂いています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	5	1			
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	6	3	3			職員全員PDCAサイクルに関して意識向上が必要と感じています。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	6				
	⑥ 自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	6			①社会福祉法人厚生協会 若竹学園 ホームページ上に公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	6			①年2回若竹学園にて第三者委員の方々へ報告し改善に繋がっています。 ①アンケート調査結果に職員全員が目を通して把握、改善に繋がっています。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	5		1	①オンライン研修等を利用し研修の機会を確保しています。 ③新型コロナの為今年度は研修を設けずでしたが次年度には出来るよう希望したい。	コロナが落ち着き次第以前のように研修に参加していきたいと思えます。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6	6				
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	4	2			今年度個別支援計画書（原本）を見直し、系列デイサービス統一した個別支援計画書、アセスメントを使用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	4	2		①アセスメント後個別支援計画案を基に支援員と一緒に会議を行い、本人に合った個別支援計画書を立案しています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	6	6				
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか	6	6				
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか	6	5	1		②個々に合わせた個別支援計画を作成し、適宜支援の中で個別、集団活動を取り入れています。	
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	3	3		②開始前の申し送りで確認出来ない場合は、再度確認しています。	
	⑯ 支援終了後には職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	4		②遅番職員がおり支援終了時の申し送りは行えないことがあります。 ②申し送り表を活用し都度記入する事により情報共有しています。	支援終了時の申し送りが出来ない場合は、翌日行い周知を図っています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	5	1			ケース記録を新しくし個別支援計画に沿った記録が書けるようになりました。月ごとのまとめも有り確認しやすくなっています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	6				
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	6					
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	6					

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	5	1			
	㉑	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6		4	2	②現在利用者がいません。 ③今の所医療ケア児の受け入れはしていません。	
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2	2	2	③なかなか連携はとれていません。	
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか	6	3	3		②相談支援事業所、移行先より要望があった場合行っています。	
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3	2	1		
	㉕	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6		5	1	②若竹系列他事業所職員が参加しています。	参加職員と情報共有しています。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	6				
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	3	2	1		
保護者への説明責任等	㉘	運営規程・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	6				
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	5	1			
	㉚	子どもや保護者からの苦情・意見について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	6				
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	6				
	㉜	個人情報に十分注意しているか	6	6				
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	6				
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	3	2	③コロナ禍において行事等は、内部行事として行っております。	
非常時等の対応	㉟	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	6				
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	6	6			①生活介護事業所たけのこと一緒に避難訓練を行っています。 ①定期的に行い職員が参加する事により周知徹底を図っている。	
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	4	2			
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	6	6				やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者へ説明し同意書へ署名捺印を頂いています。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	5		1	③医師の指示書が必要な利用者は、現在利用されていません。	
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	6				
評価全体の平均値			平均 回答数	平均 回答数	平均 回答数	平均 回答数		
			6.0	4.6	1.1	0.3		